

令和4年9月9日

けいはんなコンベンション誘致推進協議会
(事務局：株式会社 けいはんな)

第22回日本・スペイン・シンポジウムの開催について

この度、けいはんな学研都市における本格的な国際会議として、外務省・京都府・けいはんなコンベンション誘致推進協議会の共催による「第22回日本・スペイン・シンポジウム」が、けいはんなプラザにおいて開催されますので、お知らせします。

日本とスペインは、1997年から両国の相互理解と関係強化を図ることを目的として、両国外務省が中心となり、「日本・スペイン・シンポジウム」を実施してきました。

今回のシンポジウムでは、「国際秩序の転換期における日本・スペイン関係」をテーマに、6つのセッションを設け、パネルディスカッションが行われます。

御多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、取材頂きますようお願い申し上げます。

また、開催地（京都府・けいはんなコンベンション誘致推進協議会）主催で京都市内視察、けいはんな学研都市視察、夕食会などの関連行事も開催予定です。

記

○第22回日本・スペイン・シンポジウム

主催者 外務省・京都府・けいはんなコンベンション誘致推進協議会

開催日 令和4年10月5日（水）

会場 けいはんなプラザ（京都府相楽郡精華町光台一丁目7番地）

座長 佐藤義雄 経団連欧州地域委員長兼住友生命保険相互会社特別顧問
ジュゼップ・ピケ 元スペイン外務・協力大臣

○外務省ホームページ

- ・第22回日本・スペイン・シンポジウムの開催

【外務省ホームページへの掲載後に貼付け】

- ・日本・スペイン・シンポジウムの概要

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/sympo0106.html>

担当：けいはんなコンベンション誘致推進協議会

事務局 次長 森 繁樹

TEL:0774-95-5200

FAX:0774-98-2205

E-mail：mori.shigeki@keihanna-plaza.co.jp

【参考】

○日本・スペイン・シンポジウム

1994年、天皇皇后両陛下スペイン御訪問の首席随員を務めた中山元外相が、両陛下の御訪問の成果を生かし、日本・スペイン間で更に幅広い関係を構築すべく「日本・スペイン21世紀委員会」の設立を提案しました。この提案を基に、日本・スペイン友好450周年を2年後に控えた97年2月、長期的視野に立って両国の相互理解の促進及び協力関係の強化を図ることを目的に、両国の外務省が主体となり、両国の各界要人の参加を得て、「第1回日本・スペイン・シンポジウム」がマドリッドにて開催されました。

第2回以降も原則毎年1回、日本・スペイン両国の政治家、有識者、財界人、芸術家等、各界で活躍する顔ぶれが一堂に会し、時宜に応じて選ばれたテーマにつき意見交換（知的交流）を行うことにより上記目的の達成を目指しています。

○けいはんなコンベンション誘致推進協議会

けいはんなプラザやけいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）を始めとしたけいはんな学研都市内施設に、国際会議や学会等を誘致し、もって国際的な研究交流やビジネス交流を促進することを目的として活動しています。

構成団体（19団体）

- ・京都府
- ・株式会社けいはんな
- ・公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
- ・京田辺市
- ・木津川市
- ・精華町
- ・公益財団法人 京都産業21
- ・公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
- ・けいはんな記念公園
- ・一般社団法人 京都山城地域振興社
- ・国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
- ・同志社大学 京田辺校地
- ・同志社女子大学 京田辺キャンパス
- ・京都府立大学 精華キャンパス
- ・株式会社 国際電気通信基礎技術研究所
- ・国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所
- ・国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所
- ・公益財団法人 国際高等研究所
- ・国立研究開発法人 理化学研究所 けいはんな研究支援課

第22回日本・スペイン・シンポジウム
(テーマ：国際社会の転換期における日本・スペイン関係)

※プログラムは変更になる可能性があります。

10月5日(水) (於：けいはんなプラザ)

9:00-9:30 開会式

9:30-10:15

セッション1 国際的な新たな地政学的環境：明日の世界における日本とスペイン

ロシアによるウクライナ侵略により世界の局面が劇的に変化した。ロシアへの制裁、ウクライナ支援に当たって、G7やNATO加盟国を始めとする同志国間の結束が強化された一方で、中国はロシアの行動を非難していない。それに加えて、先日の米国下院議長の訪問で、台湾をめぐる緊張が高まっている。このセッションでは、既存の国際秩序が脅威にさらされている中での日本とスペインの役割について、特に両国の共通の優先課題や潜在性のある協力分野に焦点を当てて分析する。

10:15-11:00

セッション2 経済安全保障：不確実性の中でのバリューチェーンの強化

経済安全保障の概念が、世界中で決定的に重要なものとなった。グローバル・バリューチェーンは新型コロナウイルス感染症拡大によって混乱し、その状況はロシアによるウクライナ侵略によって引き起こされた不安定化という新しいベクトルによって更に悪化した。この文脈において、各国が技術、資源、一次産品へのアクセスを確保できる能力が一層重要になっている。日本は、経済安全保障担当大臣を任命し、この問題に取り組んでおり、EU及びスペインでも経済安全保障が主要論点となっている。このセッションでは、日本、スペインそれぞれの経済安全保障面の主な課題や両国で協力できる分野について意見交換を行う。

11:15-13:20

セッション3 今後の経済におけるビジネス協力

日本とスペインとの間で、特に今後の発展が見込まれる業種における日本とスペインとの企業・機関連携のグッドプラクティスとなるような、経験、成功事例、視点、考え方を紹介する。両国での成功事例を踏まえた各社との一連の対談をつなげていくことにより、両国の関係強化につながる分野を模索する。

13:30-14:45

外務省主催昼食会

15:00-15:45

セッション4 言語の果たす役割：スペインにおける日本語、日本におけるスペイン語

言語の普及は、特に若者を中心とした両国の交流に寄与する重要な要素の一つ。語学は、その国の文化、価値、アイデンティティを伝えることができる重要な手段。このセッションでは、言語の経済を踏まえて、世界における日本語とスペイン語の状況や二国間関係の文脈での日本語とスペイン語のポテンシャル、すなわちスペインにおける日本語、日本におけるスペイン語について意見交換を行う。

16:15-16:45

セッション5 観光：両国におけるコロナ後を見据えた観光振興

観光立国である日本とスペインは、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、深刻な影響を受けた。観光を通じた地域振興や持続的な観光に向けた取組など、日本とスペインそれぞれがこれから取り組む観光振興策を踏まえ、両国間の交流の一層の拡大に向けた意見交換を行う。

16:45-17:15

セッション6 食：相互理解の促進を後押しする両国の食文化とそのインパクト

食は日本とスペインそれぞれの国を説明するための最良の材料である。食はその国の社会だけでなく、国のイメージを表す最も価値のある手段。日本とスペインはその豊かな食文化、大きな世界的プレゼンス、補完性により、世界のガストロノミーの分野で高い評価を得ている。それぞれの国の食文化を紹介しつつ、日本でのスペイン料理の影響、スペインでの日本料理の影響にも触れる。

17:15-17:40 西日財団による授賞式

17:40-18:00 閉会式